

東通村漁業連合研究会『スルメイカ漁況の見通しに係る研修会』開催



講師の三浦氏



研修の様子

5月19日、村体育館において、村漁業連合研究会（林 良一 会長・尻労）主催による「令和8年度スルメイカ漁況の見通しに係る研修会」が行われました。

約20名が参加した今回の研修会では、講師の地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所 漁場環境部 主任研究員 三浦 太智 氏から近年の漁獲・資源動向や水温分布に基づく漁況の見通しについて講演がなされました。

依然として不漁が続いているスルメイカ漁ですが、昨年の漁は近年の中でも好漁だったこともあり、参加者は今年のスルメイカ漁の見通しについても真剣に耳を傾けていました。好漁場が村の沿岸に形成され、見通しを上回る漁になることを願っています。

こども園ひがしどおり5歳児 水産現場で体験学習



体験学習の様子

5月22日、東通村あわび種苗センター及び老部川さくらます孵化場において、こども園ひがしどおり5歳児の体験学習が行われました。

東通村あわび種苗センターでは、所長から海の生き物について説明を受けながら、あわびや小魚に触れて学びました。老部川さくらます孵化場では、老部川内水面漁業協同組合の坂本 和美 増殖主任から孵化場の仕組みについて教わり、漁協内の人工河川にさくらますの稚魚を放流しました。

園児たちは「あわびに目はあるの?」「さくらますはいつ食べられるの?」等と質問しながら、村の水産業や海の資源について理解を深めていました。

「地域の発展へつなげる」寄附金贈呈

5月26日、株式会社熊谷建設工業（むつ市）の熊谷 圭之輔 代表取締役社長から、地元企業として、地域の発展に貢献する目的の寄附申し出があり、目録が贈呈されました。

寄附申出のご厚意に感謝申し上げますとともに、子どもの育成・教育支援の事業に活用させていただきます。



畑中村長と熊谷代表取締役社長